令和3年度 いちご・りんご組 1学期カリキュラム反省 R3. 7. 21(水)

1学期	・園の生活に慣れ、先生と 楽しく安心して過ごす。 ・少しずつ生活習慣を 身に着けていく。	A.始めは泣いている子も、徐々に慣れ みんな安心して楽しく過ごしている。 B.段々と身についてきているが、まだ 声掛けや手助けが必要なので引き続き 丁寧に見ていく。
健康 【生活】	［排泄・手洗い］ ・活動の前後など小まめに トイレに行き、トイレで排泄 する。 ・お家の人と相談しながら、 個々に合わせてパンツで 過ごすようにしていく。 (満３歳になったらパンツに 移行する。) ・腕まくりをして、丁寧に 手洗いする習慣をつけていく。 ・手洗い後は水切りをして、 タオルやハンカチで拭く。 ・蛇口を自分でひねって、 水を出す、止めるが出来る ようにする。 ［着脱］ ・帽子は自分で被れるように 被り方を教えていく。 ・着替えは保育者が補助しながら １人で出来る部分を増やす。 ・「上履きをしまってから 靴を出して履く」 ［食事］ ・補食として軽いおやつを 食べる(４/１９～３０) (りんご組５/６～給食スタート) ・みんなで楽しく美味しく 食べられるような 雰囲気作りをしていく。 (声掛けや音楽など。) ・食事のマナーを知る。 (姿勢、お皿の置き方、 手を添える等。) ・スプーンやフォークを使って 食べる。 ・食後は口をゆすぐ。コップの 中の水切りも声を掛けていく。	A.いちご組の子は全員、りんご組の子も 数人トイレで排泄でき、ほとんど お漏らししない。 A. B.水切りや腕まくりは忘れがちなので 繰り返し声を掛けている。 B. B.声を掛けないと出しっぱなしになる ことが多い。また、石鹸をつけたら すぐ流してしまうので手をこすって から流せるようにしていきたい。 B.自分で被ろうとするが、逆になる 子もいるので手伝っている。 B.あまり着替えをする機会がなかったが 靴下の脱ぎ履きは上手になってきた。 B.習慣ついてきているが、中にはまだ 自分で履こうとしなかったり、 上履きをしまい忘れる子もいる。 A.苦手なものも一口は挑戦出来る ように励まし、手伝うことで食べ られるようになってきた。 食べる量も増え、量は一人ひとり 調節しているが、残さず食べら れるようになってきた。 B.飽きると立ち歩く子もいるので 声を掛けている。食べこぼしが 多いので、事前に確認している。 A. B.水道で遊んでしまう子もいるので、 遊ばずに済ませらせるよう 早めに声を掛けている。

	［午睡］ ・睡眠に入りやすいように 環境づくりをしていく。 (カーテン、音楽など/１時間位)	A.全員お昼寝出来る。
健康 【運動】	・楽しく体を動かす。 ・安全面に気を付けながら、 外遊びの時間を多く作る。	A.ダンスや曲に合わせた 体操が好きな子が多い。 A.
人間関係	・保育者に親しみを持ち、 友達と一緒に過ごし、 関わりを大切にしていく。 ・在園児との交流を持てるように 予定を確認し、一緒に混ぜて もらう。 （こいのぼり集会、散歩等。）	A.保育者と遊ぶことが多いが 友達同士の関わりも増えるように 促している。 A.お部屋にもよく遊びに来てくれたり、 お店屋さんごっこにも誘った。 園外保育やお散歩も一緒に 行けてよかった。
言葉	・基本的な挨拶を 言えるようにする。 ・名前を呼ばれたら、 手をあげて元気に返事をする。 ・友達同士で伝わらないことが あったら、保育者が代弁 していく。 ・「いれて」「いいよ」「かして」 「ありがとう」などのやり取りは 保育者が見本となり、 子どもが言えるようにしていく。 ・保育者もたくさん声を掛け、 子どもたちの語彙を 増やしていくようにする。	A. A.全員返事が出来るようになった。 A. B.まだ自分からは言えず、ケンカに なることも多いので、その都度 代弁し伝えている。 A.まだ個人差は大きいが それぞれのペースで言葉が 増えている。
環境	・園庭に咲いている花や野菜に 興味が持てるように、 声を掛けていく。 ・飼育物に親しみを持って接する。 ・朝の自由遊びは室内で子どもに 合わせて提供していく。	A.他クラスが育てている野菜の 成長に気付いたり、散歩のときには 毎回花や草を見つけて楽しんでいる。 A. A.制作が好きな子が多いので、 望遠鏡や新幹線、ヨーヨーなど 様々なものを用意した。
表現 【歌】	・楽しい雰囲気で歌っていく。	A.ペープサートなども作って、 楽しく歌える雰囲気を作った。
表現 【絵画制作】	・楽しく行っていく。 ・物の扱いかたを知る。	A. B.のりやマーカーの使い方は その都度伝えている。

R3年度　2学期　いちご・りんごぐみ　カリキュラム反省　R3.12.21(火)

	目標	反省
2学期	・たくさん体を動かす。 ・新しいお友だちは園生活に慣れ先生や友だちと楽しく過ごす。また、少しずつ生活習慣を身に着けていく ・挨拶を元気にする。	A. A.親と離れる際渋っても、遊びに入ってしまえば楽しく過ごせる。 A.挨拶が出来るように、こちらからも声を掛けている。
健康 【生活】	〔排泄・手洗い〕 ・３歳になった子はお家の人と協力しながらトイレで排泄できるようにしていく。 ・排泄の後、パンツやズボンを自分で上げられるようにしていく。 ・引き続きこまめにトイレに行くようにする。 ・手洗い前の腕まくりや手洗い後の水切り、タオルで拭くなど習慣づくように声を掛けていく。 ・蛇口は自分で最後までひねってしっかり止められるようにしていく。 ・手を洗うときはこまめに止めながら洗えるようにしていく。 〔着脱〕 ・帽子のかぶり方や、上履きを脱ぎ下駄箱にしまってから靴を履くなどの順序が習慣づくように引き続き声を掛けていく。また、上履きも自分で履けるようにしていく。 ・衣類の着脱は、その子の様子に合わせて自分でできるところが増えていくように援助し、服のたたみ方も教えていく。 〔食事〕 ・支度や片付けをスムーズに出来るよう声を掛けていく。 ・食事のマナーを伝えながら、楽しい雰囲気で食べていく。 (姿勢やスプーンフォークの持ち方、お皿に手を添える等) ・飽きると立ち歩く子もいるので座って食べられる様習慣づける。 ・口をゆすぐ際、水道で遊ばないようにしていく。またコップの中の水切りも声掛けしていく。 ・引き続き苦手な物でも少しずつ食べら	A.全員パンツで過ごせている。 B.まだ手助けが必要な子もいる。 A.おもらしはほとんどない。 A.その都度声は掛けるが、１学期よりもよく習慣ついてきている。 A.ほとんどの子はできるが時々締めきれていないこともある。 B.出しっぱなしになっていることが多いので、見守り、声掛けをしている。 B.靴を履く際、先に靴を出す子が何人かいるので声を掛けている。靴を左右間違えることも多いので正しい履き方を伝えている。 B.まだ、手助けが必要なので、**個別にみている。** B.時間を伝えて、意識できるように声を掛けている。 A.姿勢や持ち方などは個別に声を掛けているが、全体的に楽しい雰囲気で食べることが出来ている。 A. B.声を掛けないと時間が掛かってしまう子もいる。 A.量は調節しているがほとんど

	れるように励ましていく。 ・お皿を綺麗な状態でごちそうさまができるように最後までスプーンで集めて食べられるようにする。 〔午睡〕 ・引き続き、睡眠に入れるように落ち着いた環境づくりをする。(カーテン、音楽) 〔整理整頓〕 ・教具やおもちゃで遊ぶ際は、片付けながら遊べるようにしていく。	完食している。 A.最後は手伝うこともあるが、きれいに食べようという意識がある。 A. B.出しっぱなしになることが多いので声を掛けている。

健康 【運動】	・引き続き、鬼ごっこやしっぽ取りゲームなどを通して、遊びの中で走ることをたくさん取り入れていく。 ・マット、ぶら下がり、長縄など簡単な運動、お部屋での柔軟運動、床遊びも取り入れる。 ・ミニ運動会に向けて、玉入れ・かけっこ・サーキットも行う。 ・引き続き色々なところに出掛けられるよう、計画をしていく。 (ゆとろぎ、どんぐり山公園、ペリカン公園、富士見公園、かめのこ公園等) ★新しい体操…♪じゅげむパラリコ ♪ディズニー体操	A. B.回数があまり取れなかったので３学期も計画していく。 A. A.
人間関係	・保育者も間に入りながら、友だちとの関わりが増えていくように働きかける。 ・おもちゃの取り合いなどのトラブルは様子を見守りつつ、お互いの気持ちを代弁するなどして子どもたちが納得できるよう援助していく。 ・在園児との交流も持てるように計画する。(お散歩や園外保育、お部屋に遊びに行かせていただくなど)	A.仲が深まってきている分、遠慮が無くなり、手が出ることもあったので、保育者が間に入りながら関わり方を伝えている。 A.他学年のお兄さんお姉さんが親切にしてくれるので助かっている。３学期はより交流を深めていきたい。
言葉	・元気に挨拶や返事をする。 （保育者が見本となり促していく。） ・保育者は意識的にたくさん言葉をかけ、言葉や語彙が増えていくようにする。 また、保育者自身も見本になるような言葉掛けを意識していく。 ・友だち同士伝わらないことがあったら保育者が代弁していく。 ・自分の名前を言う（自己紹介）機会を作っていく。 ・困っている時や何かしてほしい時は、すぐに助けず「何？〇〇と言ってごらん」など、声をかけ言葉で伝えられるようにしていく。	A. A.成長と共に言葉も増えている。 A. A.クリスマス発表会では元気に自己紹介が出来ていた。 A.
環境	・お散歩や園庭遊びの時に植物や生き物などの自然に触れる機会を作っていく。 ・季節の変化を感じられる様、保育者自身も気づいて声を掛けていく。 (木の実や葉っぱなど) ・朝の自由遊びは、引き続き子どもに合わせたり希望を聞いたりしながら、提供していく。	A. A.子どもたちも気づき、拾った落ち葉や木の実を持ってくることがある。 A.季節のものなども取り入れて楽しめるように工夫している。

表現 【歌】	・楽しい雰囲気で歌っていく。 ・全員が声を出して歌えるようにしていく。 ・模倣遊びやリトミックも取り入れる	A. A. A.
表現 【絵画制作】	・物の扱い方を知る。 ・楽しく行っていく。	B.今後も伝えていく。 A.

Ｒ３年度　いちご・りんご組　３学期カリキュラム反省　Ｒ４．３．２３(水)

	目標	反省
３学期	・身の周りのことを自分で　行えるようにし、 出来る部分を増やしていく。 ・進級に向け、他学年やころころ組と関わる 機会を設け、期待を持って過ごせる ようにする。 ・たくさん体を動かす。 ・簡単なルールのある遊びを取り入れ、 みんなで遊ぶ楽しさを味わう。 ・自分から元気に挨拶をする。	A. まだ、個別に配慮が必要だが、自分の事は 自分で出来るようになってきた。 B. 感染対策のため、ころころ組との交流は 中止。散歩やお店屋さんごっこでの 交流はできた。 A. A. かくれんぼや鬼ごっこなど行った。 遊んでいる姿を見て他の子も遊びに 加わり、楽しい雰囲気でできた。 A. 朝の挨拶は上手になった。友達にも 挨拶する姿も見られた。
健康 【生活】	〈排泄・手洗い〉 ・うんちを自分で拭けるように促し、 こちらでも確認していく。 ・家庭と連携しトイレトレーニングを 進めていく。 ・排泄の後、パンツ、ズボンを自分で 上げられるようにしていく。 ・腕まくり、手洗い後の水切り、 タオルでしっかり手を拭く事を 習慣づける。 ・水を出したら、しっかり止める。 〈着脱〉 ・外に行く際は、上履きをしまってから 靴を履く。 ・上履きや靴の左右、服の畳み方 脱ぎ方は引き続きやり方を伝えていく。 ・ズボンにシャツをしまえるようにする。 〈食事〉 ・食事の準備や片付けは時間を伝えながら スムーズに行えるように声を掛けていく。 ・食事のマナー(スプーン・フォークの持ち方、 お皿に手を添える、姿勢、食べこぼしに 気を付ける)を伝えながら、楽しい雰囲気で 食べる。 ・口をゆすぐ際、水道で遊ばないようにする。 〈午睡〉 ・引き続き落ち着ける雰囲気を 作って体を休められるようにする。	B.一度自分で拭いてから、担任が仕上げ拭きをして きた。 A. 全員トイレで排泄できるようになった。 A. B. 忘れることがまだあるので、その都度 声を掛けている。 A. ほとんどの子は止められているが出したままの 時もあるのでその都度声を掛けている。 A. B. 上着が脱ぎっぱなしになっていることが あるのですぐに声を掛け気づけるように してきた。畳むことは上手。 B. 自分でしまおうとする子が増えた。後ろの シャツは難しいので援助してきた。 ・1テーブルにつき2人で一方方向を向いて 食べる。 A. ほとんどの子がスムーズに出来るように なった。まだ声掛けが必要な子もいる。 A. 上手に食べられるようになった。姿勢は 個別に声を掛けてきた。また、個々で量は 調節しているが、全員苦手なものを含め 綺麗に完食している。 B. まだ、遊んでしまう子がいるのでその都度 声を掛けている。 A. お昼寝は頭が近くならないように配置した。

	目標	反省
健康 【運動】	・園庭遊びの前などに、みんなで かけっこやマラソンをしてたくさん走る。 ・お散歩にも行き、歩く機会を たくさん持つようにする。 ・外に出られない日は室内で 体を動かせるようにする。 （床運動、柔軟体操、体操、ウィープレイ等。） ・床運動、柔軟体操はちょっとの間を利用し 日々取り入れるようにする。 ・鉄棒、マット、長縄,サーキットも取り入れる。	A. A. A. 鉄棒やマットをして体を動かした。 ほぼ毎日外で遊べた。 A. 朝のちょっとした時間に楽しく行えた。 子どもたちの方から行う姿も見られた。 A. 繰り返すうちにコツを掴み楽しく行えた。
人間関係	・ケンカやトラブルになった時は 相手の気持ちに気付けるように 保育者が間に入り一緒に考えていく。 ・進級に向けて、在園児やころころ組と交流する。 ・保育者も共にたくさん遊びながら、 子どもたち同士の仲も深めていけるように 援助していく。 ・仲が深まっていく分、トラブルが多くなることも 考えられるが、その際には自己主張している のか、わがままなだけなのか保育者は よく見て取り、援助できるようにしていく。	A. 仲が良くなってきた分トラブルがあったが 「一緒に使おう」「後で貸して」と言葉で 言えるようにしてきたので友達と仲良く 遊んでいる姿が見られた。 B. A. 遊びに迷っている子に対しては保育者が 友達の輪の中に入れるように援助してきた。 A.双方の気持ちを聞き、気持ちを受け入れてから 解決できるようにしてきた。
言葉	・元気に挨拶や返事をする。 ・友達とのやりとりの中で「いれて」「かして」 「ありがとう」「ごめんね」等伝えられるよう 促していく。 ・手が出てしまった時は、嫌なことや 困ったことは言葉で伝えられるように 保育者が見本を示しながら援助していく。 ・集団の中であまり目立たない子に対しては 保育者から声を掛け、発言する機会を 作っていく。 ・中にはまだ言葉がはっきりしない子も いるが、引き続き会話を楽しめるように していく。	A. B. 自分から出ないこともあるので、 「〇〇と言おうね」など声を掛けて促している。 B. まだ、言葉より先に手が出てしまう子もいるが、その都度 どうしたらいいか子どもと一緒に話し合うようにし、少しずつ 我慢出来たり、言葉で少しずつ言えることが増えた。 A. A. まだはっきりしない子もいるが、会話を楽しんで いる。
環境	・氷作りや霜柱を見つける等、 冬にしかできない遊びを楽しむ。 ・周りの動植物に興味を持ち、 クラスで育てているヒヤシンスや メダカを世話する。 ・季節が感じられるように保育者自身が 声をかけていく。 ・朝の自由遊びは引き続き子どもに合わせたり 希望を聞いたりしながら提供していく。	A. 暖かい日が続いているが氷を作ることができた。 A. 子どもたちがヒヤシンスの水かえやメダカに餌を あげを興味を持ってくれた。花が咲いたときは みんな喜んでいた。 A. お散歩を通して花や木をじっくり見たり、つぼみを見つけ たりと、春に変わっていく様子を楽しむことができた。 A.
表現 【歌】	・楽しい雰囲気で歌っていく。 ・怒鳴らないよう丁度いい 声量を伝えていく。	A. ペープサートも用いて楽しい雰囲気でできた。 A. 怒鳴ってしまうときは綺麗な声で歌えるように 伝えてきた。
表現 【制作】	・楽しく行えるよう工夫する。 ・一斉活動でも行う。	A. A. 3学期からは、一斉活動でたくさん制作を行った。 話もよく聞けていた。